

グループ研究テーマ

「日本の食品ロス問題」

グループ名：もったいない

《メンバー》

SGS 14期

上田 尚男 波々伯部 之夫
長濱 速雄 藤原 俊雄
前川 宏睦 山寄 修一郎

SGS 15期

石井 由起子 島村 千恵子
南部 ユリ子 原 美知江
今中 英雄

2017年12月20日

テーマを取上げた背景・理由

我国は「まだ食べられる食料」を大量に棄てている！

- ◆ 「食料自給率」 38% (平成28年度)
- ◆ 世界最大の食料輸入国(量) 約 5,100万トン
- ◆ 国内食料消費(仕向)量 約 8,300万トン
- ◆ 食品廃棄量・食品ロス量
 - ・ 総廃棄量 1,661万トン
 - ・ 食品ロス量 621万トン

もったいない

「食品ロス」の調査・研究と提言・提案

1. 「食品ロス」・「食品廃棄物等」の状況調査

2. 「食品ロス削減」の取組状況と「問題点・課題」

(1) 国、地方公共団体、行政等

(2) 食品事業者等

(3) フードバンク

(4) 一般消費者／家庭

(5) 学校給食



3. 「食品ロス削減」に向けての「提言」・「提案」

(1) 「一般消費者／家庭」に関するもの

(2) 「神戸市」の「食品ロス削減」の取組に関するもの

日本の「食品ロス」の状況《1》

(平成26年度推計)

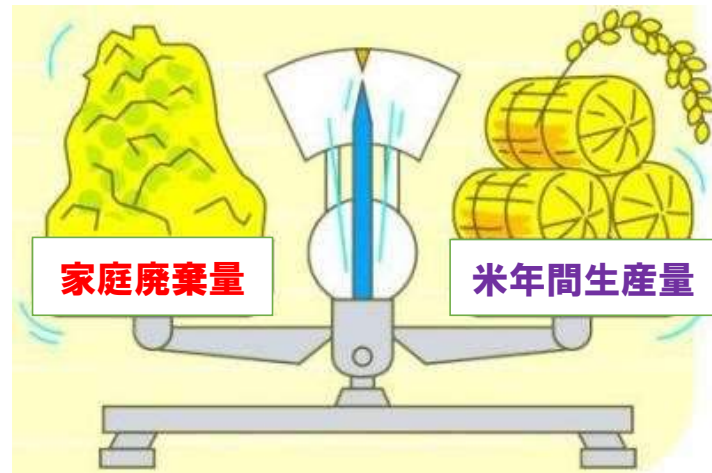
「食品廃棄物等の廃棄量」(年間)

全体 1,661万トン

◎ 一般家庭 822万トン

◎ 食品関連事業者 839万トン

* (お米の生産量 844万トン)



「まだ食べられる食品の廃棄量」

「食品ロス」

全体 621万トン

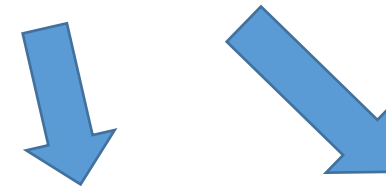


日本の食品ロスの状況《2》 (平成26年度推計)

「食品ロス」年間500～800万トン

「食品ロスの内訳」

全体 621万トン



一般家庭

282万トン

事業者

339万トン

国民1人/1日当たり「食品ロス量134g
(茶碗約1杯のご飯の量に相当)

日本の食品ロス
621万トン

世界の食糧援助量
320万トン



食品ロスの状況（事例）

食品ロス事例（一般家庭側）



食品ロス事例（事業者側）



◆ NO-FOODLOSS プロジェクト ◆

食品ロス削減国民運動



食べものに、
もったいないを、
もういちど。

NO-FOODLOSS PROJECT

農林水産省他 平成25年10月～

「食品事業者」の食品ロス削減

- ・過剰在庫・返品（製・配・販）
- ・調理くず・食べ残し（外食）



【製造・流通】

- ・製・配・販によるパイロットプロジェクト
- ・フードバンク活動支援

【外食】

- ・ドギーバック普及支援、食べきり運動等

「家庭」の食品ロス削減

- ・調理くず
- ・食べ残し、手つかずの食品廃棄



【家庭・消費者】

- ・小売店舗、マスメディア、SNS等を活用した戦略的コミュニケーション
（意識啓発、期限表示理解促進、エコクッキング等）

国の「食品ロス削減」の取組み（事例）

食品ロス削減 商慣習検討ワーキングチーム

農林水産省補助事業 2013年10月～

・食品製造業(9社)・食品卸売業(3社)・食品小売業(4社)

◆ 食品製造・流通業界 ◆

(1) 「納品期限見直し」; 「1／3」→「1／2」ルール

(2) 「適正な賞味期限延長」

- ・カップ麺・・・1カ月延長
- ・袋麺・・・・・・2カ月延長



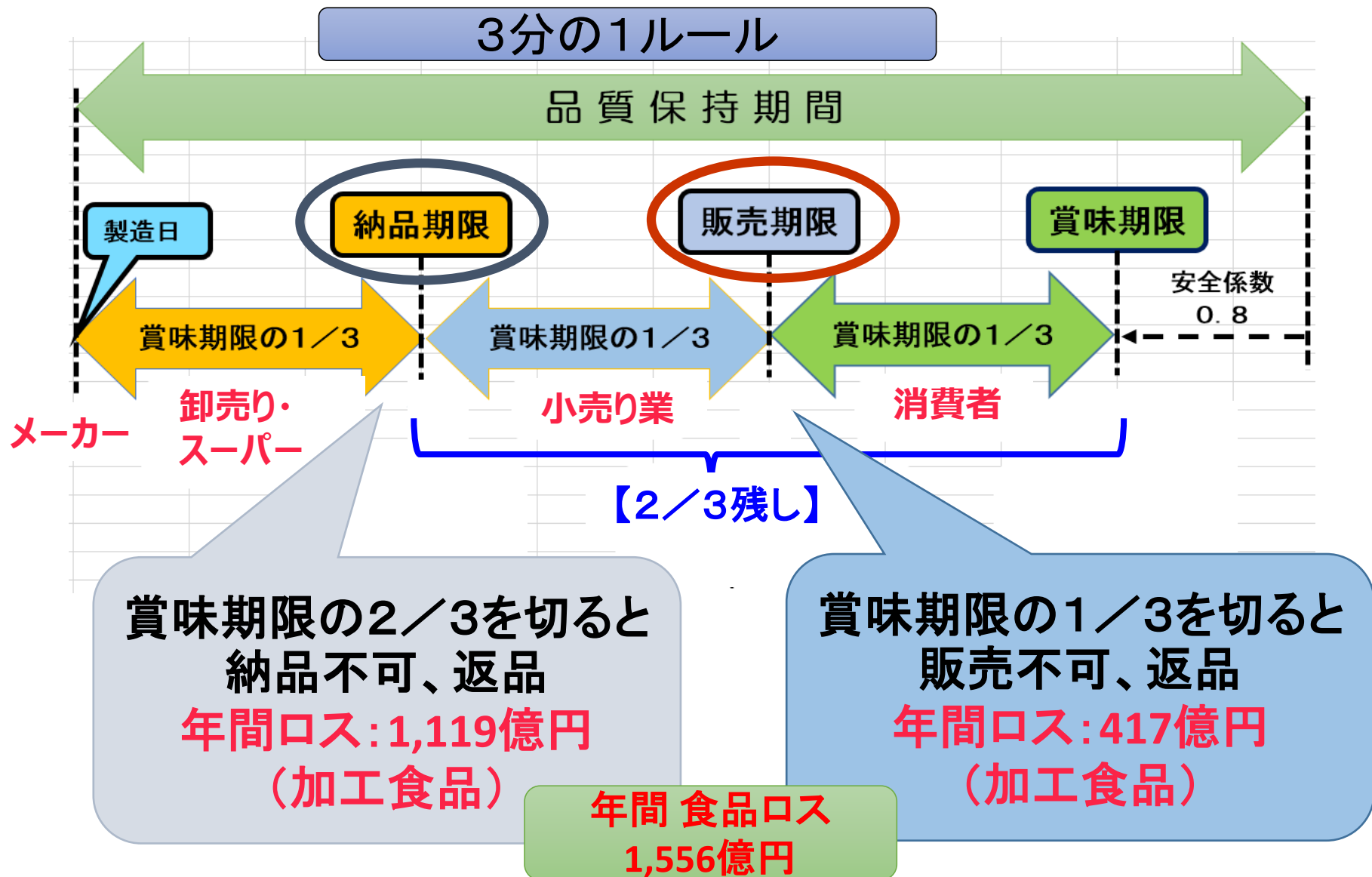
(3) 「賞味期限表示の変更」

- ・ミネラルウォーター・・・年月日表示→年月表示

(4) 「消費者理解の促進」→消費期限と賞味期限

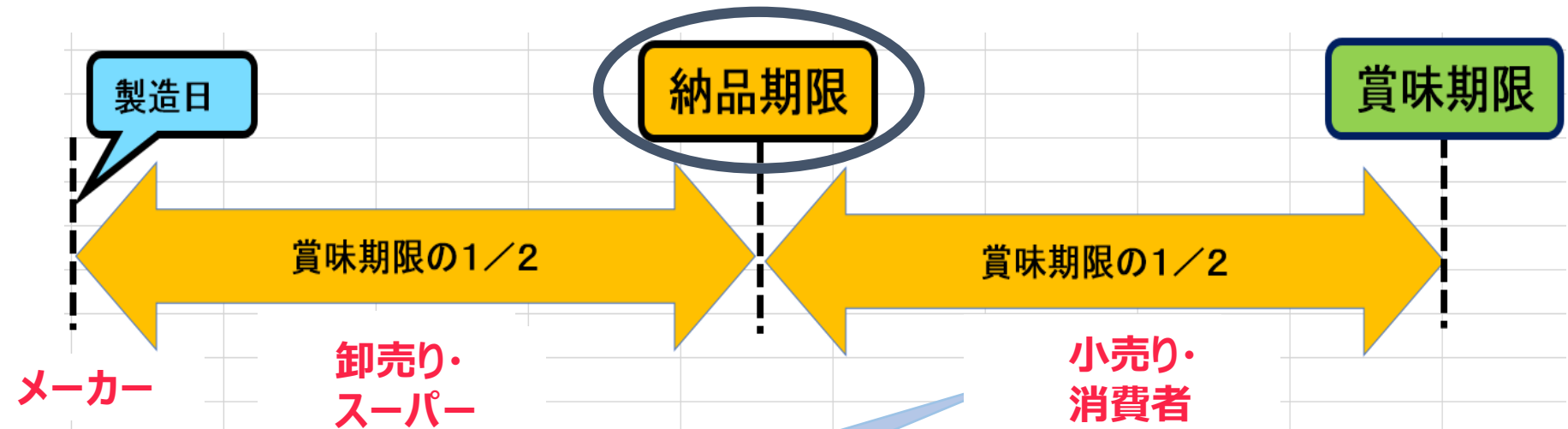
(5) 「未出荷廃棄のフードバンク活用」

「3分の1」⇒「2分の1」ルールへ 《1》



「3分の1」→「2分の1」ルールへ 《2》

2分の1ルール



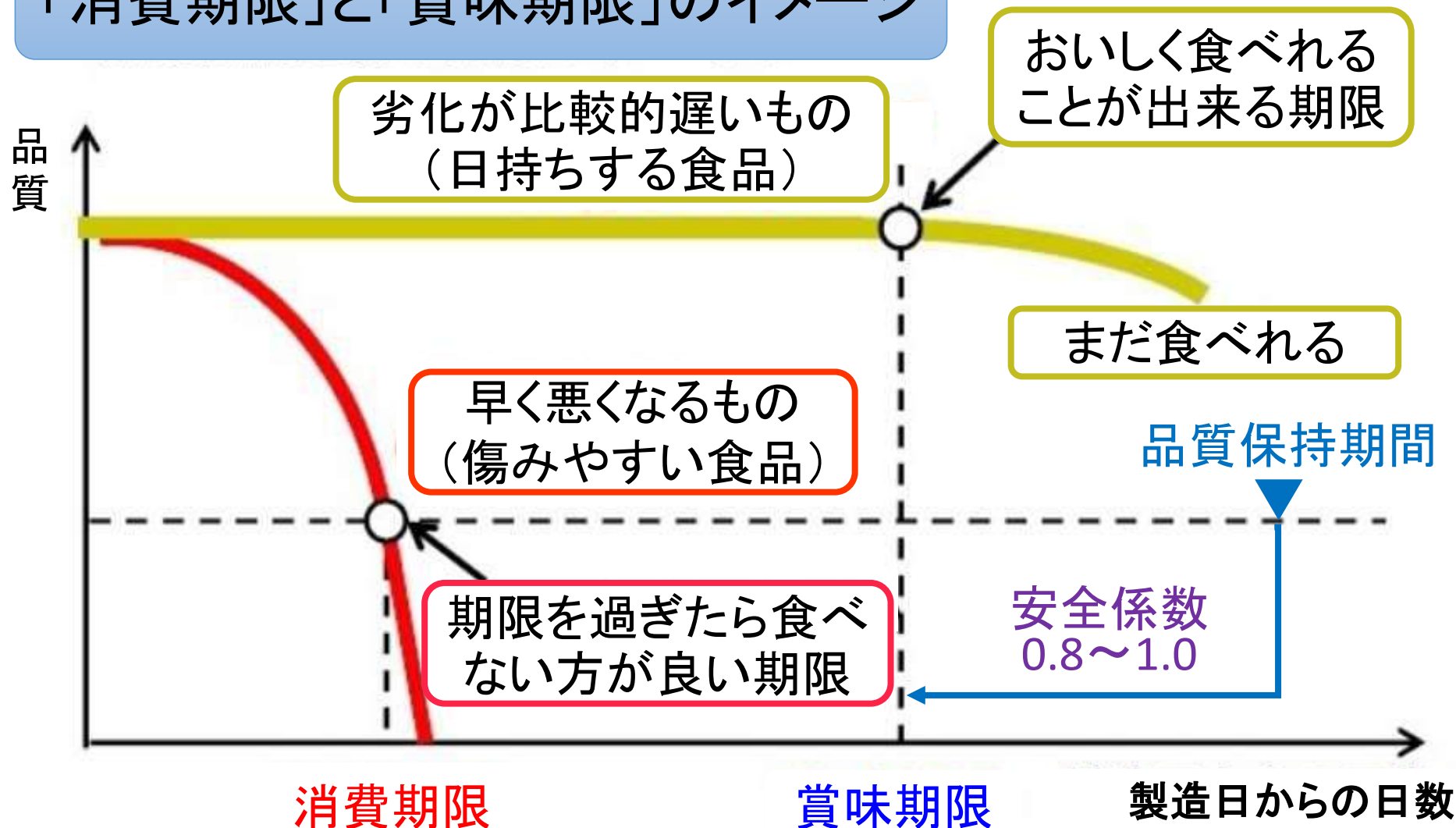
販売期限は個々の
小売りが決める

海外の納品期限

- ・アメリカ: $1/2$
- ・フランス・イタリア: $2/3$
- ・イギリス: $3/4$

消費期限と賞味期限

「消費期限」と「賞味期限」のイメージ



兵庫県 「食品ロス削減」の取組み

残さず食べよう！ 30・10(さんまる いちまる)運動

◇30・10運動とは・・・みなさん知っていますか？

宴会時に**最初の30分**と**最後の10分**は食事を楽しみ、
食べ残しを減らす運動です。 (2011年度 長野県松本市が提唱)

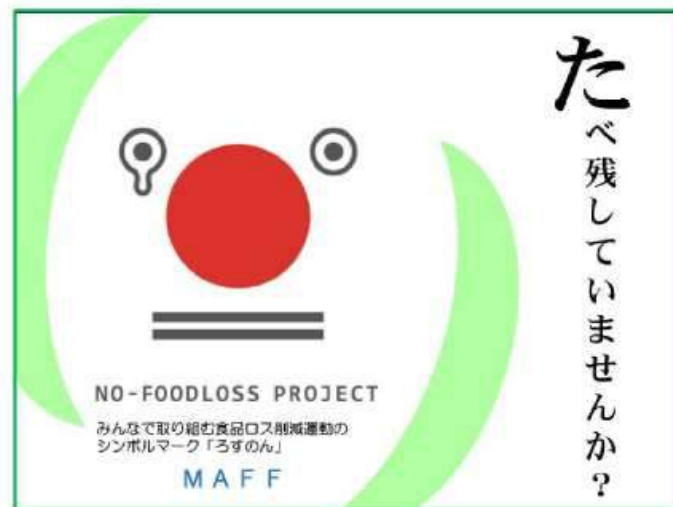
残さず食べよう！

さんまる いちまる

30・10運動



兵庫県 店舗用カード



神戸市 ネットモニターアンケート 「食品ロス」調査結果



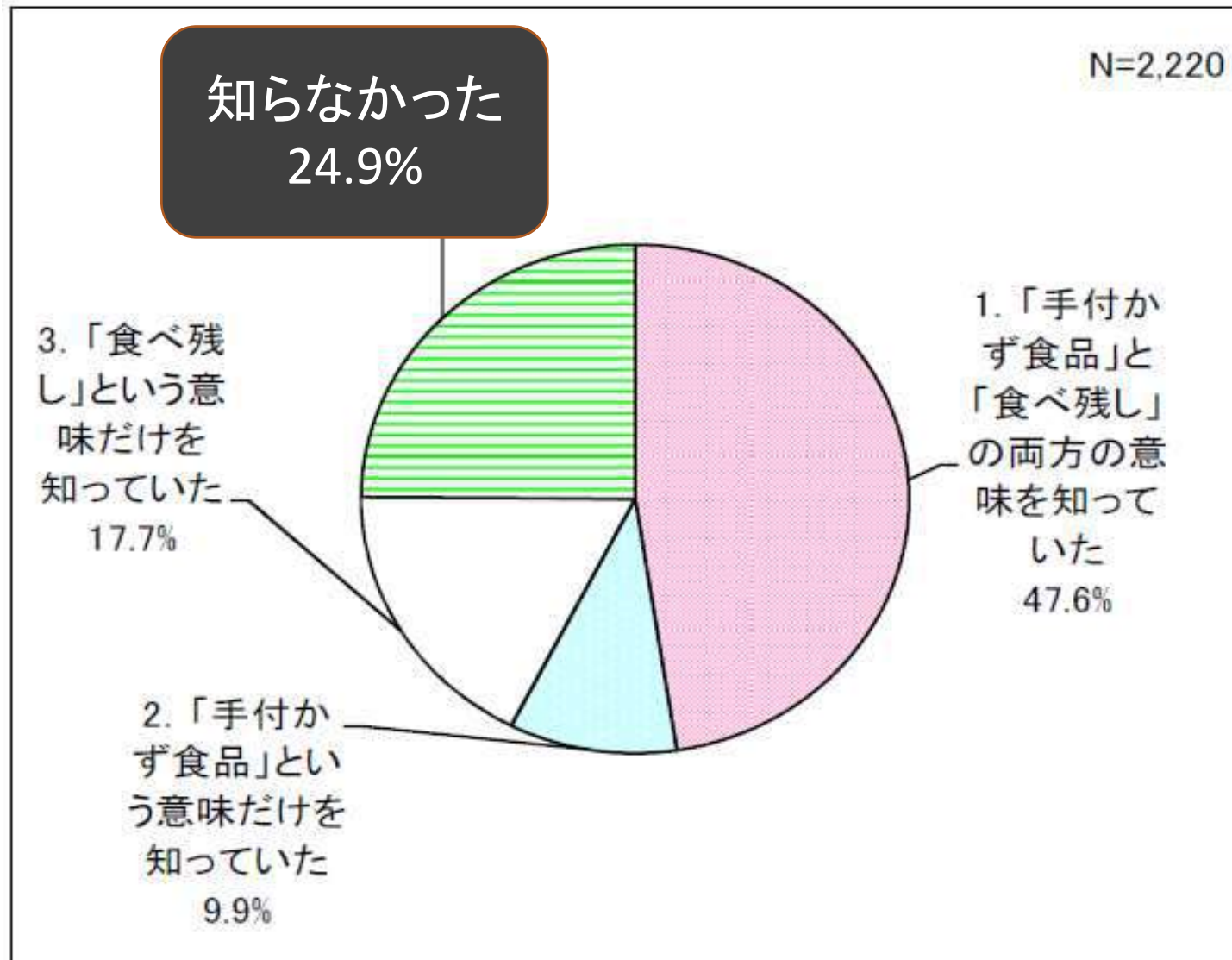
- ・テーマ：ごみの減量・資源化施策について
～食品ロス、古紙・小型家電リサイクル～
- ・調査期間：平成28年5月25日～6月7日
- ・対象モニター数：3,046名
- ・回答モニター数：2,220名（回答率72.9%）



神戸市 ネットモニターアンケート 「食品ロス」調査結果

平成28年実施

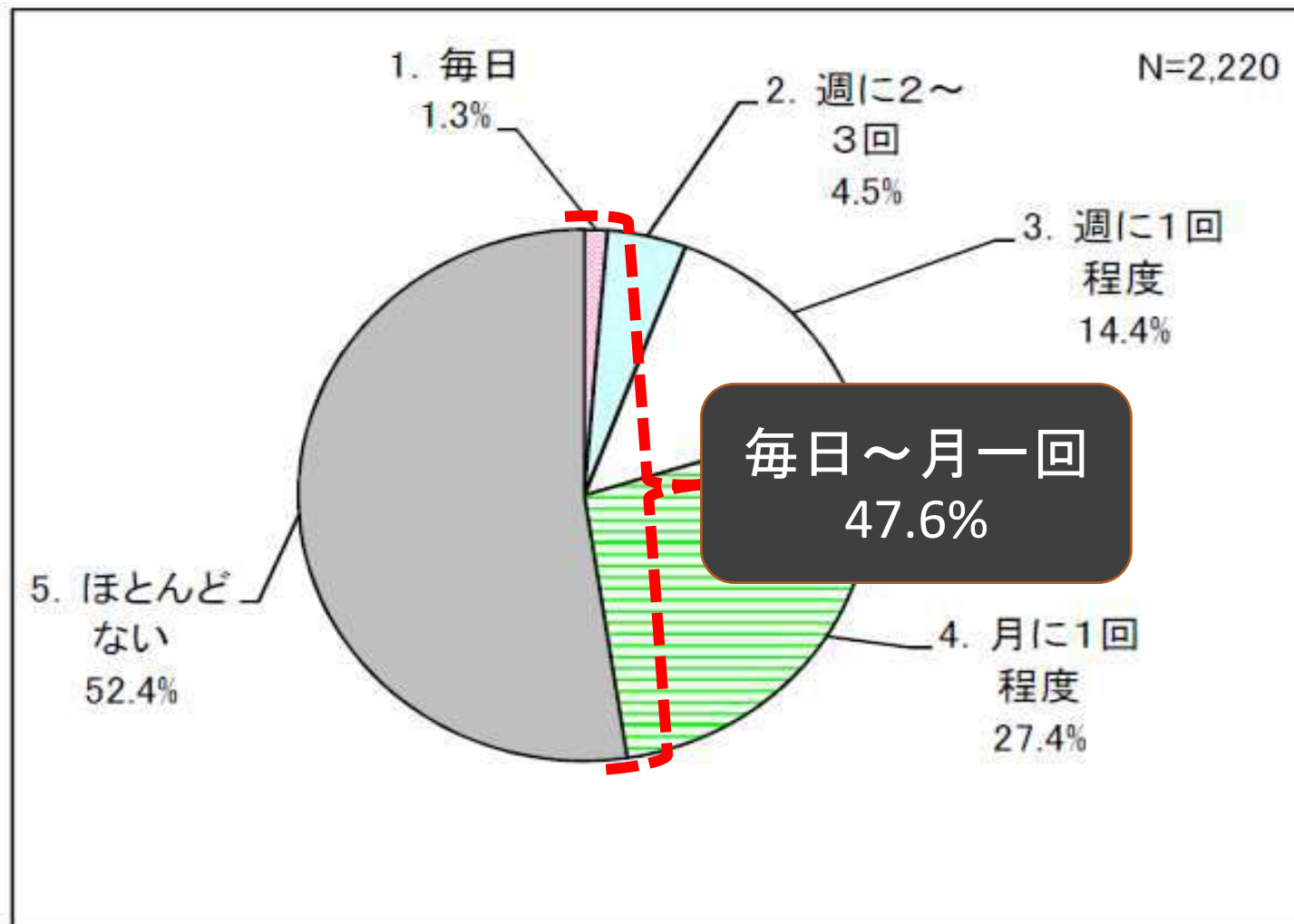
「食品ロス」を知っているか？



神戸市 ネットモニターアンケート 「食品ロス」調査結果

平成28年実施

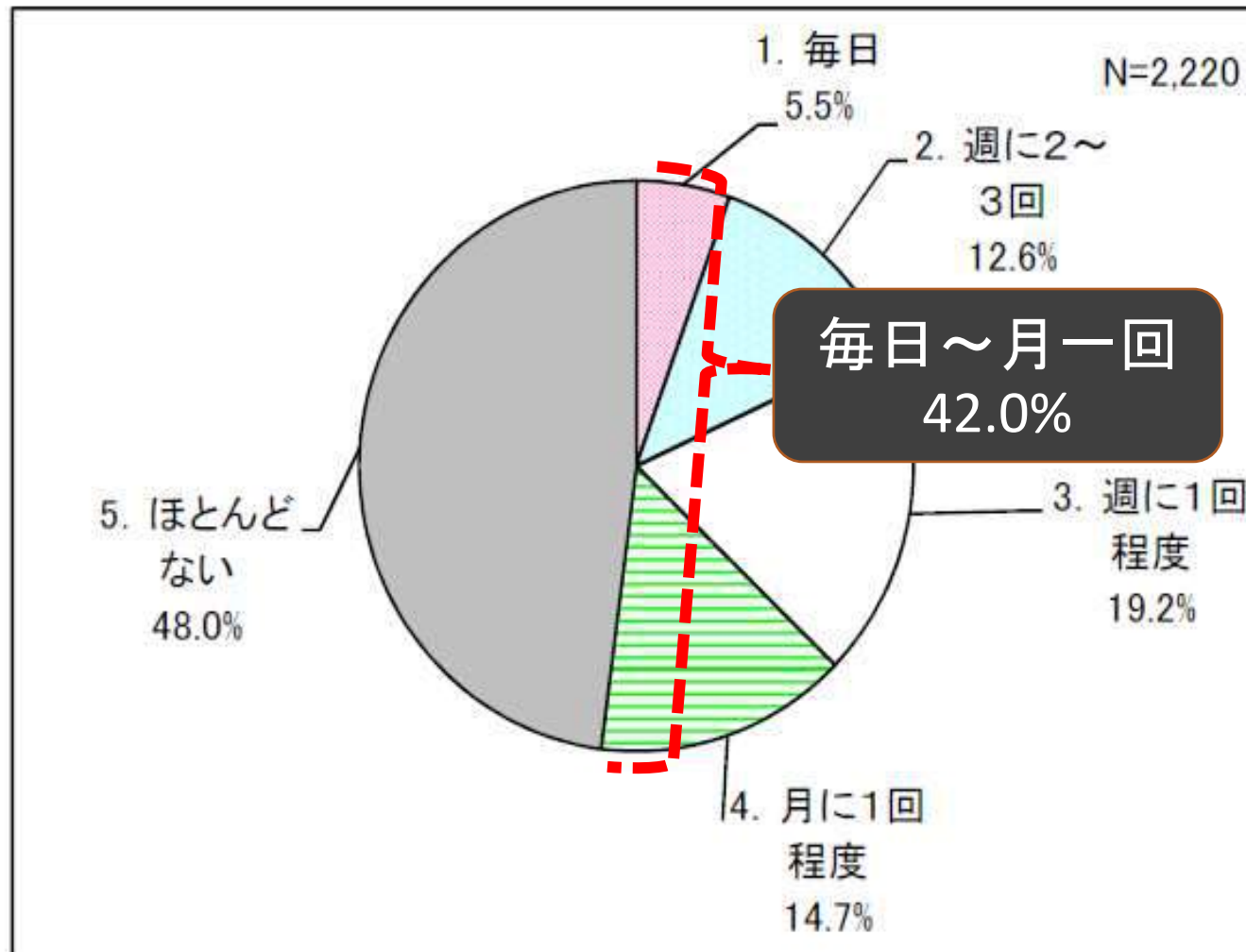
どれ位の頻度で「手つかず食品」を
廃棄しているか？



神戸市 ネットモニターアンケート 「食品ロス」調査結果

平成28年実施

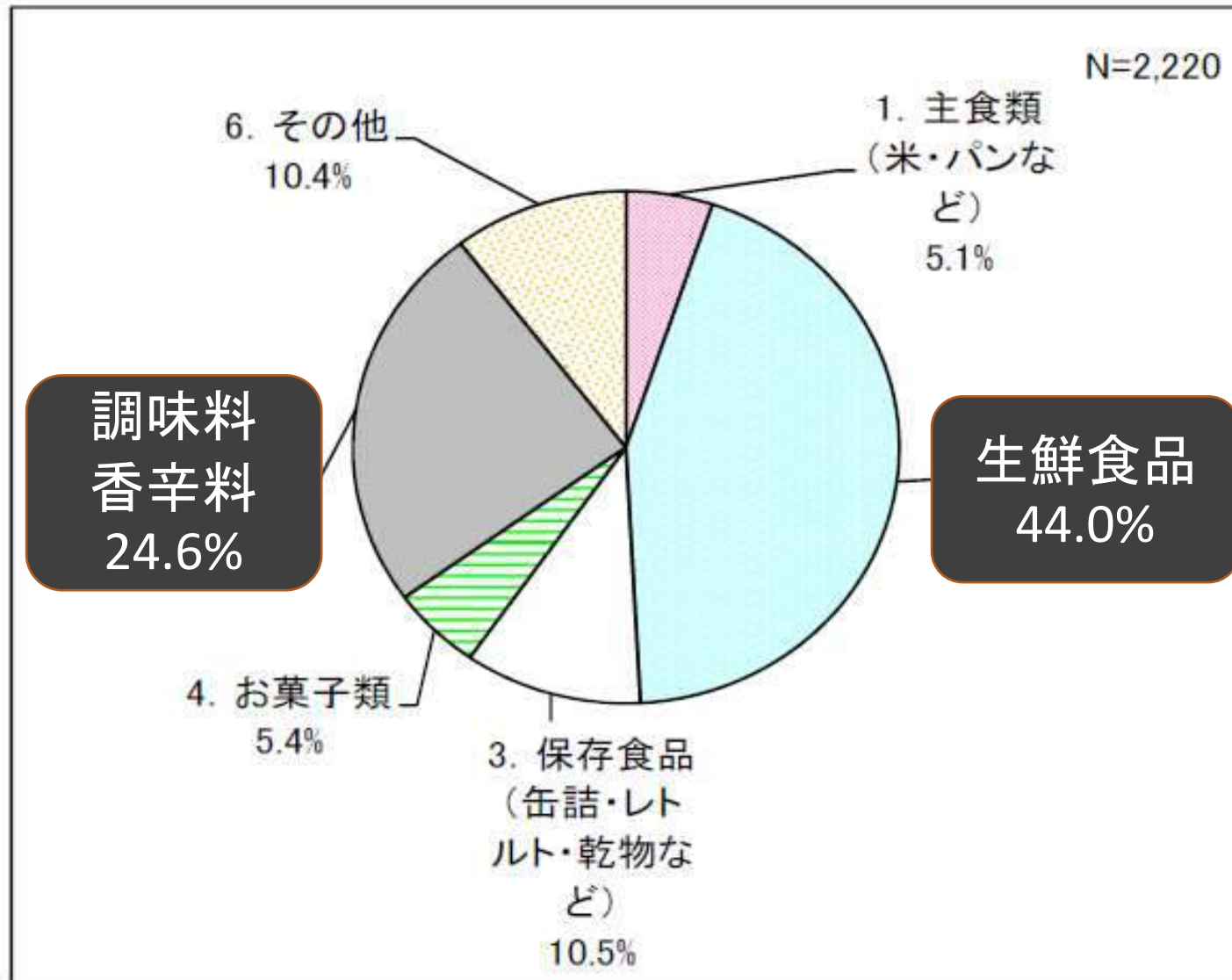
どれ位の頻度で「食べ残し」を
廃棄しているか？



神戸市 ネットモニターアンケート 「食品ロス」調査結果

平成28年実施

よく捨てる「手付かず食品は何か？」



全国自治体、民間団体等の 「食品ロス削減」の取組み（事例）

1. 都道府県（29都道府県）

- 北海道：食べ残しをゼロに
- 東京都：江戸川食べきり推進運動
- 埼玉県：食べきりSaiTama大作戦
- 富山県：富山「エコ・クッキング」

2. 自治体（36区市町村）

- 網走市：「食べ残しを減らそう」推進事業
- 北九州市：食べものの「残しま宣言」運動
- 横浜市：冷蔵庫10(イーオ)、30(ミーオ)作戦

毎月**10日**と**30日**は
冷蔵庫の中をチェックする日にして、
ムダに捨てられてしまう
食材を減らしましょう！

- 神戸市：現在「食品ロス削減運動の展開」に向け
今年度中に「推進計画書」を策定予定。
“神戸版”「食品ロス削減運動」の展開を目指す。

3. 民間団体・その他（9団体・他）

- ドギーバッグ普及委員会
- Foodloss Challenge Project実行委員会



フードバンク（F・B）の活動について

食べられる
のに廃棄さ
れる食品
(もったいない)

無償配布

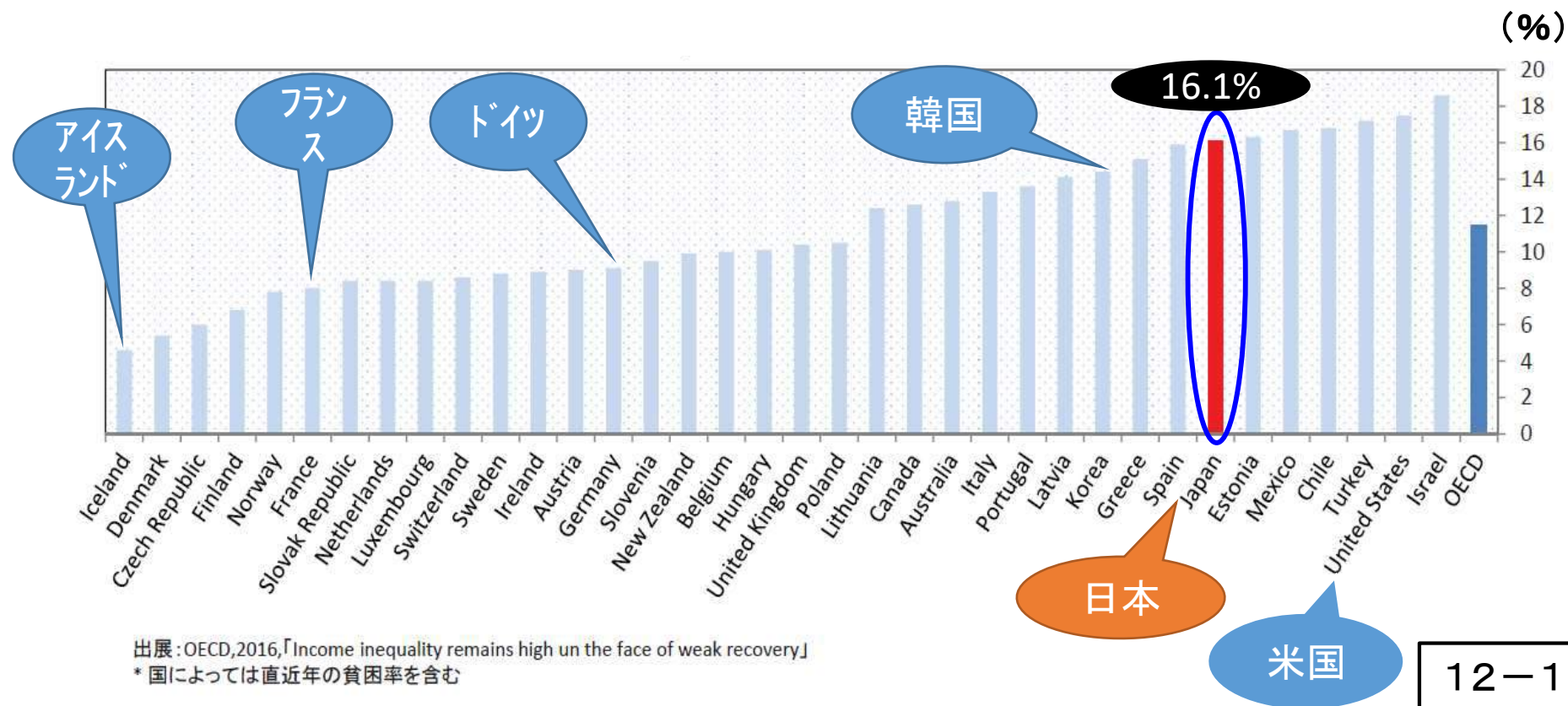
食べ物に
困って
いる人達

「食品ロス」
年間621万トン

一人親・子供世帯

日本の貧困率の状況

- ◆日本の相対的貧困率：16.1%（2012年度）
- ◆OECD35ヶ国中 日本は7番目に高い（2016年度）
- ◆17歳以下の子供達：7人に1人が貧困状態



海外・日本の（F・B）の状況・日本の課題

（開始年）

（F・B団体数）

- 1967年 **米国**：200団体以上、**国・行政・市民の支援大、**
年間取扱量200万トン、F・Bの**法整備整っている**
- 1984年 **フランス**：80団体以上、**国・行政の支援大、**
一定規模以上の**スーパーは食品廃棄禁止**
- 1998年 **韓国**：（425箇所、**国・行政の支援大、国策として**
全国規模で実施、食品ロスが少ない）
- 2000年 **日本**：77団体、年間取扱量約4,300トン
-

＜日本の課題＞

- （1）**認知度・知名度が低い・F・Bを纏める組織設置**
- （2）**ボランティア依存度高い・専門知識者不足**
- （3）**運営資金不足・自治体・行政の支援施策が必要**

海外の（F・B）の様子

フランス スーパーに於ける
寄付の商品集め



韓国
フードマーケットの内部



パリ首都圏
センター(倉庫)



韓国
生活用品
寄付ボックス



食料廃棄と食品ロスの要因・課題《1》

食品ロスとなっているものは？（食品産業）

農林水産省「平成21年度食品ロス統計調査」

◆ 食品メーカー ◆

- ・欠品対応用の**保有在庫品**が期限切れ等で**販売不可**
- ・製造過程で発生する印刷ミスなどの**規格外品**

◆ 小売店 ◆

- ・**販売期限を超えた**等で販売できなくなった**在庫処分**
- ・**新商品販売**や**規格変更（定番カット）**による**撤去・廃棄**

◆ 外食・飲食店 ◆

- ・客が**食べ残した料理**
- ・客に提供できなかった**仕込み済み過ぎ食材**
- ・もてなしの文化としては「**食べきれないほどの料理**」
- ・「**ドギーバッグ**」等の普及が、いま一つ積極的でない。



もった
いない

食料廃棄と食品ロスの要因・課題《2》

食品ロスとなっているものは？（一般消費者／家庭）

農林水産省「平成21年度食品ロス統計調査（世帯調査）」

◆ 一般消費者／家庭 ◆

- ・過剰購入、賞味期限・消費期限切れ
- ・過度な鮮度意識
- ・冷蔵庫に入れたまま消費期限を超えた。
- ・調理の際に食べられる部分を多く棄てている。
- ・買い物に出かける前に在庫（冷蔵庫）を確認していない。

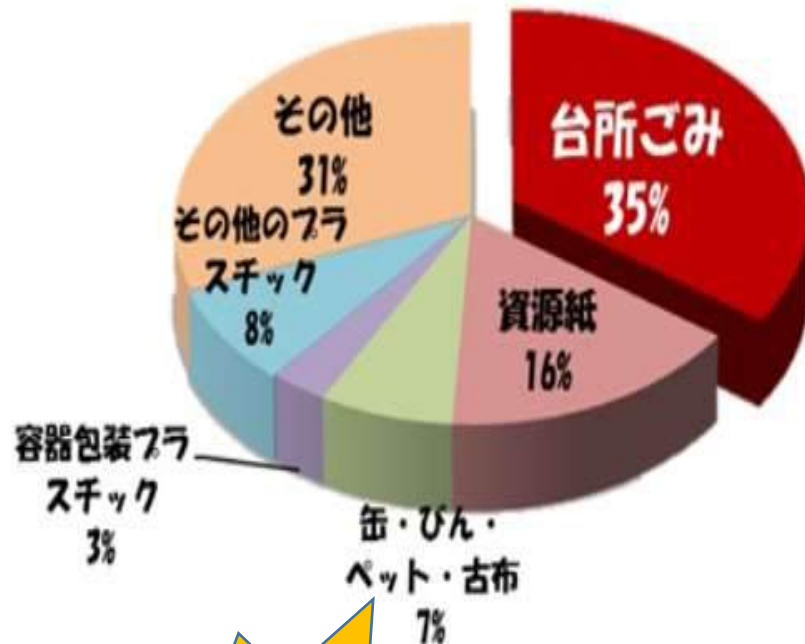


私達は、毎日の食材の買い方から調理、食事、廃棄などにおいて、意識改革が必要です！！

「食品ロス」を減らし、「もったいない」を無くしましょう

家庭における食品ロスの要因と実情（事例）

神戸市 家庭から出された「台所ごみ」と「食品ロス」



家庭から出る「燃えるごみ」の
約3～4割が「台所(生)ごみ」

その「台所ごみ」のうち、
「食品ロス」が
約2割を占めている

もった
いない



食品ロス

手つかず 食べ残し
食品 10% 10%

食品ロス 1人年間
12kg、12,000円

台所ごみの内訳

その他の台所ごみ
80%

家庭系燃えるごみの組成(平成27年度)

「学校給食」から発生する「食品ロス」状況

◆小・中学校給食の「食品廃棄物発生量」◆

・ 児童・生徒1人／年：17.2Kg

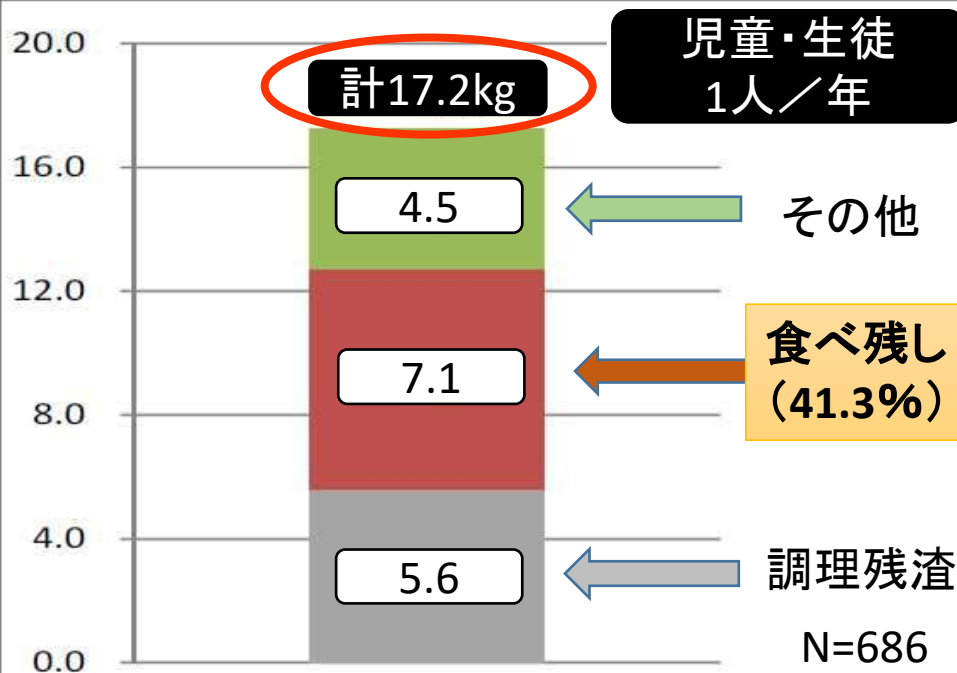
うち「食べ残し」：7.1Kg (41.3%)

・ 「リサイクル率」：59.0% (飼料化+肥料化+メタン化)

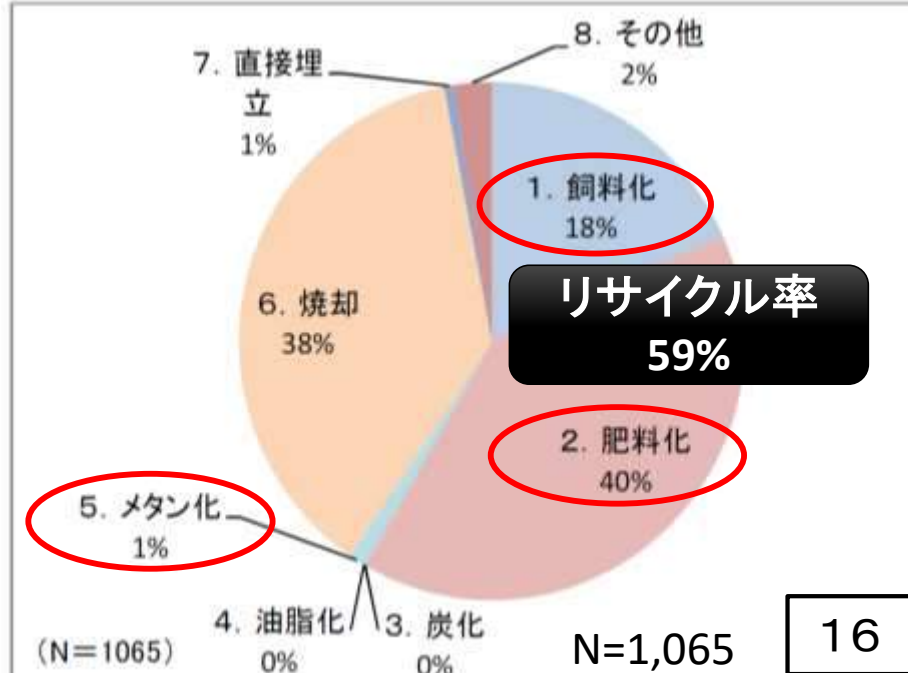


学校給食 食品廃棄量(年間)

単位kg



学校給食 食品廃棄リサイクル率(年間)



～「食品ロス削減」への提言～

一般消費者/家庭での削減

食べ残し



一般家庭から廃棄された
手付かず食品



家庭における食品ロスの内訳

食事として使用・提供
されていたが、食べ残
して廃棄

食べ残し

27%

食べられる部分まで
過剰に除去して廃棄
(例:大根の皮の厚剥き)

過剰除去

55%

直接廃棄

18%

消費期限や賞味期限
を超えたことにより、
食事として使用・提供
せずにそのまま廃棄

もった
いない

～「食品ロス削減」への提言～

一般消費者/家庭での削減

『私達「一般消費者／家庭」でやるべきこと』

1. 調理時の【過剰除去】削減
2. 【食べ残し】・【手付かず】廃棄の削減
3. 外食時の【ドギーバッグ促進】・【食べきり運動】
4. 「賞味期限」・「消費期限」の【適正な理解】
5. 家庭・学校両者の【食育】（親・子供の同一意識）

子供・孫世代のためにも、皆さん一緒に
「食品ロス」を減らしていきましょう！！

~~もったいない~~

～「食品ロス削減」への提案～

神戸市「食品ロス削減運動展開」の推進

〔神戸市への提案〕

- (1)「食品ロス削減運動の事業化計画」の完遂(今年度中)
- (2)「市民」・「事業者」・「行政」の三者協働による、
神戸ならではの、“こうべ版”「食品ロス削減運動を展開」
- (3)小売り店舗における「フードドライブ」の継続・推進を！

「食品ロス削減運動の展開」推進については、
「もったいない」グループとして、
神戸市の応募・提案などに
積極的に参加していく予定にしております。

以上でグループの発表を終わります

みなさん《もったいない》を無くしましょう

ご清聴ありがとうございました